

◇◆◇レジオネラ症防止のために◇◆◇

◇レジオネラ症とは？

レジオネラ症とは、レジオネラ属菌が原因で起こる感染症です。

レジオネラ属菌を含んだエアロゾル（目に見えないほど細かい水滴）を吸い込むと発症することがあります。

レジオネラ症には2つの病型があります。

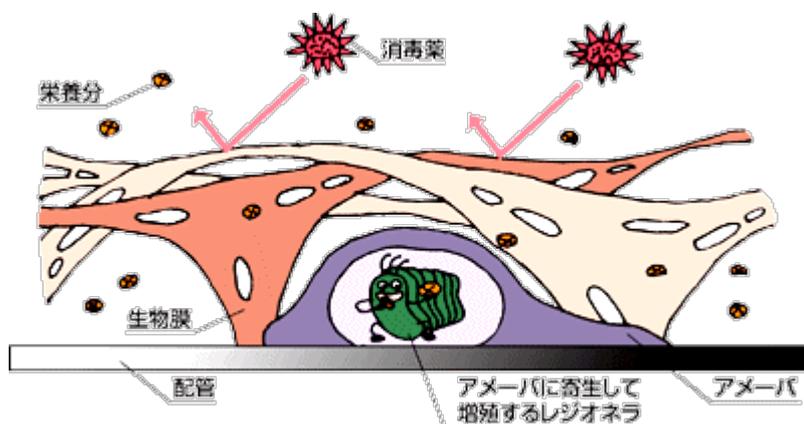
- ポンティアック熱：発熱がみられるが、自然治癒する。
- レジオネラ肺炎：2～10日の潜伏期を経て発病し、高熱、全身倦怠感、呼吸困難等の症状が現れる。病勢の進行が早く、医療機関への受診、治療が遅れると致死率も高い。

◇レジオネラ属菌とは？

レジオネラ属菌は、土の中など自然界に広く生息しています。

アメーバなど細菌を餌とする原生動物に寄生し、20～50℃で増殖します。従って、循環式浴槽水や冷却塔水などで検出されることがあります。その菌数は通常、水 100ml あたり 10～100 個、多いときは、100 万個に達します。

循環ろ過装置を設置し、消毒をせずに連続運転
↓
ろ剤にたまった有機物を栄養源として微生物が繁殖
↓
バイオフィルム（生物膜、ぬめり）形成
↓
バイオフィルムにより、消毒効果が得られず、レジオネラ属菌が増殖



◇入浴設備のレジオネラ症防止対策※

- ・浴槽水は原則、毎日完全に入れ換えましょう（これにより難しい場合、浴槽水の汚染状況を勘案して最低でも一週間に一回以上完全に入れ換えましょう）
- ・浴槽水の消毒は、塩素系薬剤を使用することが一般的です。浴槽水の遊離残留塩素濃度は、通常 0.2mg/L から 0.4mg/L 程度に保ちましょう（1.0mg/L を超えない）。
（※「レジオネラ症を予防するために必要な措置に関する技術上の指針」より）